

ガラス体験学習（須恵小学校）

ガラスアートの文化が育まれてきた本市のきららガラス未来館で、須恵小学校の児童がサンドブラスト制作体験学習を行いました。ガラスコップの表面にマスキングテープを貼って、それにチューリップやペンギン、サッカーボールなどのデザインを写し取り、カッターナイフで切り抜いた後、特殊な機械で砂を吹き付けました。子どもたちは、講師の皆さんからカッターナイフの使い方などを教えていただきながら、集中して取り組んでいました。でき上がった世界で一つの作品を見て、やったー！と大事そうに持ち帰りました。



キャリア教育講演会（厚陽小中学校）

厚陽小学校の3年生から中学校2年生までの児童生徒が、将来の生き方を考える機会とするため、厚陽校区を中心とした講師の方からお話を聞きました。警察官や保育士、パティシエ、美容師など11の職業の特質や楽しさ、やりがい、大切にしていることなど普段聞けないようなことばかりで、子どもたちは興味深くじっと耳を傾けたりメモしたりしていました。ある講師の方が、夢を叶える条件として、できない理由を探さないこと、途中で投げ出さないこととおっしゃった言葉が印象的でした。



小中連携教育研修会（赤崎小学校・本山小学校・松原分校・竜王中学校）

竜王中学校区では、今年度3回目の小中連携教育研修会が本山小学校で行われました。はじめに、参観授業があり、その後、学び・体づくり・心みがき・りゅうみんPRIDE・特別支援の各部会で今年度の取組の振り返りを行い、次年度に向けた課題を確認しました。このように、年3回の研修会を通じて、中学校区の学校が一貫した指導をすることが可能になるとともに、様々な連携が深まってきています。子どもたちの9年間の学びや育ちを切れ目なく同一歩調で支える上で、この研修会には大きな意義があり役立っています。

